

PRESS RELEASE

山口情報芸術センター(YCAM) presents

sound tectonics #6 / open improvisations LIVE コンサート
「signal to noise」



日時：2006年3月8日(水) 20:00-22:00 (開場は30分前)

会場：山口情報芸術センター スタジオA

料金：(全席自由) 一般2,000円 セット券2,500円

(セット券：3/8 "signal to noise"+3/10 C・ツィーグラ最新作パフォーマンス「TURNED」)

参加サウンドアーティスト：

ジェイソン・カーン (percussion, electronics)

トマス・コルバー (guitar, electronics)、

ノルベルト・メスラング (cracked everyday electronics)

ギュンター・ミュラー (ipod, delay, eq)

クリスティアン・ウェーバー (contrabass)、山内 桂 (saxophone)

&

I.S.O. [一楽儀光 (percussion)、Sachiko M (sinewaves)、大友良英 (guitar, turntables)] YCAMでは、来る3月8日に、オープン・インプロヴィゼーション・ライブ・コンサート「signal to noise (シグナル・トゥー・ノイズ)」を開催いたします。

インプロヴィゼーション (即興音楽) の世界的アーティストであるジェイソン・カーンとギュンター・ミュラーを中心に、スイスからの豪華ツアーメンバーを迎えるライブコンサートです。YCAM公演では、スペシャルゲストとして山内桂が大分から参加。

さらに欧米日本で数々の伝説的ステージを作り上げてきたグループ、「I.S.O. [一楽儀光、Sachiko M、大友良英]」(※一楽氏は山口市在住) の4年ぶりとなる山口来演が決定。生楽器、エレクトロニクス、ターンテーブルなど多彩なセッションによる即興サウンドライブをおこないます。

世界的実験音楽のトップアーティストたちがYCAMに集結。彼らお互いの触発が、YCAMでいったいどんな音を生み出すのか、大いに期待が膨らみます。

* sound tectonics (サウンド・テクトニクス)

「生きた都市の音としてのグルーヴサウンド」をテーマとして、サウンドと空間環境 (映像、空間デザインなど) の関係を探るYCAM主催のライブコンサートシリーズ。これまでに国内外の多くのサウンドアーティストを招聘し、今回で6回目となる。

■アーティスト紹介

1. ジェイソン・カーン Jason Kahn

NY出身、チューリッヒ在住のパーカッションニスト。アナログシンセサイザー、ライブプロセッシングソフトウェアをパーカッションと組み合わせた独自の演奏で国際的に活躍。ギュンター・ミュラー、VoiceCrack、クリスティアン・マークレーらと共演するほか、サウンドインスタレーションやマルチメディアピース、コンサートなど多岐に渡る活動を展開。レーベル「cut」を主宰し、11枚のCDをリリース。



2. トマス・コルバー Tomas Korber

チューリッヒ出身の若手インプロヴァイザー。アカデミックな音楽教育を受けるが、様々な実験音楽の方向性 (エレクトロアコースティック、フリーインプロヴィゼーションなど) に興味を持ち、エレキギターやエレクトロニックデバイスを独学。演劇や映画音楽の作曲も手がけるほか、現在チューリッヒ大学に在籍、心理学とコンピュータサイエンスを研究。



3. ノルベルト・メスラング Norbert Möslang

75年からソプラノサクソ、コントラバスクラリネット、cracked everyday-electronicsを演奏。「king übü orchesterü」や「poire_z」のメンバーの1人で、ボルビトマグース、ギュンター・ミュラー、ジム・オルーク、大友良英、フローリアン・ヘッカー、ケヴィン・ドラム、キース・ロウ、ジェイソン・カーン、などの数多くのアーティストとの共演で知られる。ヴィジュアルアートの分野においても活動。



4. ギュンター・ミュラー Günter Müller

元Nachtluftのメタルパーカッションニスト。mobile pick-upとマイクロフォンシステム、iPodを装着し、独自のスタイルを確立。ジム・オルークやクリスティアン・マークレー、ブッチ・モリスからキース・ロウまで、数多くの優れたミュージシャンと共演。多くの日本のアーティストから絶大なリスペクトを受ける。インディペンデントレコード



レーベル「For 4 Ears」主宰。

5. クリスティアン・ウェーバー Christian Weber

チューリッヒ在住のダブルベース奏者、インプロヴァイザー。ペーター・コヴァルト、イレーネ・シュヴァイツァー、イヴァン・パーカーらフリージャズ系のアーティストから、Sudden Infantらノイズ・アーティストとも共演する。



6. 山内 桂 Katsura Yamauchi

大学時代からサクスを始め、フリー・ジャズに傾倒。即興演奏に関心を持ち、サラリーマンとして過ごす傍ら、ソロとして国内外の様々なミュージシャンと共演。ペナンペ、サルモバンド等のグループでの活動や作曲のほか、海外アーティストの来日公演の主催も手掛ける。音楽シーンの殆どない地方都市で演奏場所を開拓しつつ、現在国内、ヨーロッパツアーを展開。大分市在住。



7. 一楽儀光 Yoshimitsu Ichiraku

山口市生まれ。90年頃には日本の音楽シーンと関係を持たぬまま独自の音楽を作り出すに至っていた。広瀬淳二、吉沢元治、ジョージ・ルイスらとの共演をきっかけにシーンに登場。金大煥、内橋和久、ジョン・ローズ、大友良英との共演を経て、96年には崔善倍トリオのメンバーとして活動。コンピュータコントロールシステムを用いた「ドラびでお」で話題を呼ぶ。アルスエレクトロニカ（リンツ）デジタルミュージック部門入賞。山口市在住。



8. Sachiko M

カット・アップとプランダー・フォニック（剽窃的サンプリング）の中核を担うサンプラー奏者として活躍。98年テスト・トーン（=サインウェイヴ）を再利用した独自のサンプラー奏法を開始。サインウェイヴだけを使ったエクストリームなソロ『Sine Wave Solo』は国際的に高い注目を集める。電子音楽の実験場「Filament」を中心に、様々なアーティストとのコラボレーションを行うほか、ソロを追求させた作品、企画を継続中。



9. 大友良英 Yoshihide Otomo

日本を代表するターンテーブル奏者/ギタリスト/作曲家として世界中で活躍。映画音楽家としても高い評価を得る。ノイズやカットアップを多用した大音量の作品から、音響の発生そのものに焦点を当てた方向へとドラスティックに作風を変化させている。Sachiko Mと結成した「Filament」で徹底した脱メモリー音楽を指向する一方で、伝統楽器とエレクトロニクスによるアンサンブル「Cathode」や、60年代のジャズを今日的な視点で蘇らせている。



■概要

オープン・インプロヴィゼーション・ライブ・コンサート

「signal to noise」

日時：2006年3月8日(水) 20:00-22:00（開場は30分前）

会場：山口情報芸術センター スタジオA

料金：（全席自由） 一般 2,000円 セット券 2,500円

（セット券：3/8「signal to noise」+ 3/10 C・ツィーグラ最新作パフォーマンス「TURNED」）

出演：

ジェイソン・カーン (percussion, electronics)

トマス・コルバー (guitar, electronics)

ノルベルト・メスラング (cracked everyday electronics)

ギュンター・ミュラー (ipod, delay, eq)

クリスティアン・ウェーバー (contrabass)、山内 桂 (saxophone)
I.S.O. [一楽儀光 (percussion)、Sachiko M (sinewaves)、大友良英 (guitar, turntables)]

プレイガイド発売:

山口市文化振興財団チケットインフォメーション: 083-920-6111

ローソンチケット: 0570-084-006 (Lコード: 68981)

主催: 財団法人山口市文化振興財団

後援: スイス大使館、山口市、山口市教育委員会

助成: Arts Council of Switzerland, Pro Helvetia (プロヘルヴェティア財団)

<山口情報芸術センター(YCAM)へのアクセス>

■ 山口宇部空港から

- ・ 乗合タクシーで YCAM まで 約 1 時間(1500 円)
※前日 18:00 までに予約が必要 大隅タクシー0120-31-0860
- ・ 空港連絡バスで JR 新山口駅まで 30 分(870 円)

■ JR 新山口駅から

- ・ JR 山口線湯田温泉駅下車、徒歩 20 分/タクシー5 分
- ・ JR 山口線山口駅下車、徒歩 20 分/バス 10 分(中園町か済生会病院前下車)/タクシー5 分
- ・ 防長バス 25 分、中園町下車

■ 自動車利用

- ・ 山陽自動車道で防府東 IC から 30 分
- ・ 九州・中国自動車道で小郡 IC から 15 分

<お問い合わせ>

山口情報芸術センター (広報担当: 小滝)

〒753-0075 山口県山口市中園町 7-7

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216

E-mail: information@ycam.jp <http://www.ycam.jp/>